

随意契約結果書

物品等の名称及び数量	令和7年度「革新的な統合気象データを用いた洪水予測の高精度化」研究委託
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	支出負担行為担当官 九州地方整備局長 森田 康夫 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-10-7 福岡第二合同庁舎7階
契約締結日	令和 7年 4月 1日
契約の相手方の氏名及び住所	国立大学法人 九州大学
契約金額 (消費税及び地方消費税含む)	¥73,600,000-
予定価格 (消費税及び地方消費税含む)	¥0-
随意契約によることとした理由	別紙のとおり
備考	

契約理由書

1. 件 名 令和7年度「革新的な統合気象データを用いた洪水予測の高精度化」研究委託
2. 履行場所 福岡県福岡市博多区博多駅東2丁目10番7号
3. 契約の相手方 住 所：福岡県福岡市西区元岡744
会社名：国立大学法人 九州大学
電 話：092-583-7551
4. 契約適用法令 会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号
5. 当該研究の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該研究の目的

豪雨災害が頻繁に発生する拡大筑後川流域と球磨川・川内川流域の風上側にライダーシステムを設置し、水蒸気と熱のフラックスをモニタリングする技術を開発するものである。また、ライダーによる水蒸気・気温・風速・風向の鉛直分布と、衛星データ等のパターン情報を統合した新たな気象データを創出する技術を構築するものである。さらに、統合気象データを用いたAIによる降雨量と河川流量・河川水位の予測技術を開発し、洪水予測の精度向上と社会実装に貢献することを目的とする。

2) 研究の内容

主な研究内容は以下のとおりである。

- ・水蒸気量・気温・風速・風向の鉛直分布のライダーセンシング技術 1式
- ・ライダー・衛星データ等の統合化技術 1式
- ・データ同化予測精度の検証 1式
- ・AIによる洪水予測技術 1式
- ・出口戦略に向けた取組 1式

3) 契約に付する理由

本委託研究は、内閣府の取り組みである研究開発 Society5.0 との橋渡しプログラム (BRIDGE) に基づき、令和5年度から令和7年度の3ヶ年で実施するものである。

契約の相手方は、令和5年度に契約を締結し、内閣府で行われた令和6年度年度末評価においても継続評価されており、本研究を遂行するために必要な技術開発要素、有用性、実現可能性を備えていると判断するものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記法人と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

河川部 水災害予報センター長